土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	その他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	

ボーリング名	Bor-1	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦	北緯	34° 18' 28.9756"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 6月30日～ 令和2年 7月 1日	東経	132° 30' 28.4975"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 83.10m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種			
総削孔長	4.00m	試錐機	東邦DO-C		
エンジン	ヤンマーNFD12	ポンプ	東邦BG3-C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	82.80	0.30		玉石混り砂		淡褐			表層5cm粒径のマサ土及び礫。以深長さ25cmの硬い玉石。	
1				花崗岩		淡灰			中硬岩相当の花崗岩。長さ10～45cmの短棒状～棒状。岩質は硬く、ハンマーの打診で金属音を発する。水平～傾斜15度程度の割れ目が多い。	
2	80.95	2.15								
	80.50	2.60		風化花崗岩		淡灰			軟岩Ⅱ相当の風化した花崗岩。厚さ3～8cmの岩片状。岩質はやや軟質。ハンマーの中打で礫片状に崩れる。傾斜20度と90度の割れ目が見られる。	
3				花崗岩		淡灰			中硬岩相当の花崗岩。厚さ3～5cmの岩片状又は長さ10～30cmの短棒状～棒状。岩質は中硬質で、ハンマーで打診すると濁音又は金属音を発する。傾斜5度、20度、50度の割れ目が見られる。	
4	79.10	4.00								
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度—N値図 (0 10 20 30 40 50 60)

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.00	貫	入	不	能	50 / 0	0
50以上	2.00	貫	入	不	能	50 / 0	0
50以上	3.00	貫	入	不	能	50 / 0	0
50以上	4.00	貫	入	不	能	50 / 0	0

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				6/30
				7/1